



# 新見公立大学大学院 健康科学研究科

中山間地域の未来を拓く  
全世代型地域包括ケアの追究・実践

## 看護学専攻

博士前期課程 修士（看護学）  
博士後期課程 博士（看護学）

## 地域福祉学専攻

修士課程 修士（地域福祉学）



 新見公立大学

## 新見公立大学大学院について

新見公立大学は、岡山県北西部、中国山地の麓にあり、緑豊かな自然に恵まれた人口2万5千人の新見市にあります。1980年に公立短期大学として開学し、2019年4月に「人と地域を創る新見公立大学NiU」として、健康科学部1学部3学科（健康保育、看護、地域福祉）体制に改組し、課題先進地域の現場で中山間地域の持続可能な未来像としての共生社会における3学科の役割と多職種連携を実践的に研究、教育しています。

近年、中山間地域が抱える保健・医療・福祉の課題は複雑化、多様化、重層化しており、共生社会の構築基盤となる「中山間地域の全世代型地域包括ケア看護学/福祉学」を新たに体系化して、実践的に検証していくことが求められています。本学は、日本の中山間地域にある唯一の保健福祉系の公立大学であり、その使命としてこの課題に正面から取り組むこととしました。

2023年4月に、大学院看護学研究科（修士課程）を大学院健康科学研究科に名称変更し、新たに地域福祉学専攻（修士課程）ならびに看護学専攻（博士後期課程）を設置し、看護学専攻（修士課程）を博士前期課程として、大学院を改組・充実しました。中山間の住み慣れた地域で、安心してこころ豊かに共に生きる社会の基盤となる全世代型地域包括ケアシステムの構築に向けて、看護ならびに地域福祉の視点から課題を明らかにし、実践的指導者、研究者ならびに教育者を育成しつつ、産学官民の多職種協働での解決を構想する大学院を目指していきます。

学長 公文裕巳

### 新見公立大学（学部・専攻科・大学院）

#### 健康科学部

健康保育学科  
入学定員 50名

看護学科  
入学定員 80名

地域福祉学科  
入学定員 50名

助産学専攻科  
入学定員 5名

#### 大学院健康科学研究科

看護学専攻

博士前期課程  
入学定員 4名

博士後期課程  
入学定員 2名

地域福祉学専攻

修士課程  
入学定員 4名

## 健康科学研究科の目的

学術の理論及び応用を教授研究し、深奥を究め、学術と教育の振興を図り、保健・医療・福祉の増進と地域医療の発展に寄与するとともに、学術研究を創造的に推進する優れた研究者並びに高度で専門的な知識と能力を有する職業人を育成する。

## 看護学専攻

### 博士前期課程

#### 学位

修士（看護学）

#### 入学定員

4名

#### 標準修業年限

2年

#### 目標

中山間地域の保健・医療・福祉の課題を包括的に捉えて、看護の視点からみた全世代型地域包括ケアを追及・実践する質の高い看護実践者、研究者、教育者を育成する。

#### 育成する人材像

- ・中山間地域の医療を支える質の高い看護実践者
- ・地域包括ケアの視点を持つ研究者/教育者

#### 取得可能な資格

- ・養護教諭専修免許状
- \* 所定の要件を満たす必要があります。

### 博士後期課程

#### 学位

博士（看護学）

#### 入学定員

2名

#### 標準修業年限

3年

#### 目標

中山間地域に暮らす全ての世代の「こころ」と「身体」の健康を支えるために、教育研究機関、行政機関、医療機関等で、全世代型地域包括ケア看護学の深化・推進に貢献する質の高い看護研究者を育成する。

#### 育成する人材像

- ・地域医療・看護を支える研究者
- ・全世代型地域包括ケア看護学の深化・推進に貢献する質の高い看護研究者

#### 養護教諭専修免許状取得（単位履修者）

養護教諭の役割は、子どもの健康課題の変化とともに重要となり、保護者、教職員、地域からの期待も増してきています。そのため、養護教諭にはより高度な専門性が求められています。本専攻では看護学を基盤とし、高度な専門性を有した養護教諭専修免許状を持つ教育者・研究者を育成します。

## 地域福祉学専攻

### 修士課程

#### 学位

修士（地域福祉学）

#### 入学定員

4名

#### 標準修業年限

2年

#### 目標

中山間地域の課題解決のために活躍する、福祉学の視点からみた全世代型地域包括ケアを追及・実践するリーダーを育成する。

#### 育成する人材像

- ・個別の生活課題が抽出できる福祉実践者
- ・課題解決のための包括的支援体制を地域社会に関わる多様な人々と産学官民を巻き込んで指導的に構想できる福祉実践者
- ・課題解決のための地域福祉としてのアクションを探索・企画・立案して実践できる福祉実践者

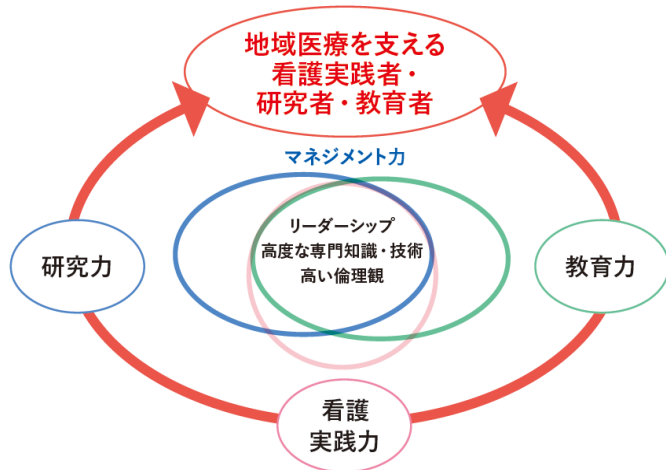
#### 取得可能な資格

- ・専門社会調査士
- \* 所定の要件を満たす必要があります。



## 看護学の視点からみた全世代型地域包括ケアの追究・実践

中山間地域の医療を支える質の高い看護実践者  
地域包括ケアの視点を持つ研究者・教育者を育成します。



### 専攻の特色

- ・中山間地域の医療を支える質の高い看護実践力、研究力および教育力が修得できます。
- ・地域包括ケアの視点から各専門科目を配置し、看護の視点から保健・医療分野の支援の具体的方法について学ぶことができます。
- ・養護教諭専修免許状を取得できます。
- \* 所定の要件を満たす必要があります。

### 想定する学生

現在または将来、保健、医療、福祉、教育、行政に関連する施設・機関に勤務する看護専門職を目指す人

### 修了後の進路

保健、医療、福祉、行政、教育機関等において活躍する看護実践者、研究者、教育者

### 専任教員

#### [地域生活支援看護学領域]

教員名	研究のキーワード
矢庭 さゆり (研究科長)	地域保健/地域包括ケアシステム
木下 香織 (専攻長)	老年看護/コミュニケーション
井上真一郎	地域精神保健/リエゾン
金山 時恵	子育て支援/健康づくり
栗本 一美	在宅看護/継続看護
矢嶋 裕樹	援助要請/健康生活習慣
赤澤真旗子	学校保健/健康相談

#### [療養支援看護学領域]

教員名	研究のキーワード
久保 俊英 (副学長)	小児の成長・発育/学校保健
礒本 暁子	成人看護/がん看護
井上 理絵	助産ケア/思春期・LGBT/不妊・不育
佐々木新介	実験研究非侵襲的計測（超音波・サーモグラフィなど）
塩見 和子	看護史/結核看護
山田 雅夫	ウイルス/感染症
真壁 五月	成人看護/看護管理
山本智恵子	共感ストレス/臨床判断

### 客員教員

教員名	担当科目
野村 陽子	地域ケアマネジメント特論



## 時間割例

時間割をもとに履修科目の例を作成しています。

### ○養護教諭専修免許状取得モデル

	月	火	木	金	土
	16:40~19:50				9:20~18:10
1年前期	精神保健特論 特別研究Ⅰ (必)	健康科学特論 (必)	学校保健特論 (必)	育成看護支援 特論	看護研究特論 (必) 地域支援看護学特論/ 療養支援看護学特論 (選択必修)
1年後期	健康科学英語 特論 特別研究Ⅰ (必)		統計学特論	看護教育特論 看護技術特論	地域医療支援特論 (必) 看護学課題演習 (必) 地域ケアマネジメント特論
2年前期		特別研究Ⅱ (必)		養護活動イン ターンシップ実習	
2年後期		特別研究Ⅱ (必)			

### ○社会人学生モデル

	月	火	木	金	土
	16:40~21:30				9:20~18:10
1年前期	精神保健特 論	健康科学特論 (必)	在宅看護支援 特論 看護管理特論	成人看護支援特 論/高齢者ケア特 論 特別研究 (必)	看護研究特論 (必) 地域支援看護学特論/ 療養支援看護学特論 (選択必修)
1年後期			統計学特論	看護教育特論 看護技術特論 特別研究 (必)	地域医療支援特論 (必) 看護学課題演習 (必) 看護実践と倫理
2年前期	必修科目以外は修了要件に 応じて選択して履修する				特別研究Ⅱ (必)
2年後期					特別研究Ⅱ (必)

長期履修制度を利用した場合は、1～2年次の科目を3～4年次に分けて履修することが可能です。その場合でも、(必)の科目は可能なかぎり1～2年次で履修することを推奨します。

#### －2年間の流れ－

##### 1年次

4月 入学式  
12-1月 研究計画書提出・研究構想発表会

##### 2年次 (修士論文提出年度)

～5月頃 研究倫理審査  
9月 中間発表会  
12月 修士論文提出  
1-2月 修士論文審査、最終発表会  
3月 修了・学位授与式



## 開講科目の概要

# 中山間地域の保健・医療を支える力を身につける

**研究科 共通科目** 看護学専攻（博士前期課程）・地域福祉学専攻（修士課程）共通の科目

### 健康科学特論

本学が目標とする健康科学の視点、関連知識の修得。

### 健康科学英語特論

健康科学分野の英語の専門語彙、論文の構成力と論旨の展開方法に関する能力を修得。

## 看護学専攻 共通科目

### 看護研究特論

看護における研究の意義と役割を理解し、社会に還元できる研究を実践できる知識と能力を修得。

### 看護教育特論

看護実践・看護教育において必要な指導方法や教育評価のあり方を探究。

### 看護管理特論

看護管理に関する基本的な知識・技術、保健医療組織における管理の方法を修得し、看護専門職の果たすべき役割を探究。

### 看護実践と倫理

倫理的ジレンマや倫理的問題について多様な視点で考察、倫理的感性を高めるための課題を探究。

### 地域医療支援特論

岡山県北を中心とした地域の医療の状況を理解し、地域医療・看護を支援する方法を探究。

### 精神保健特論

中山間地域における全世代のこころと身体の健康を支援する地域包括ケアシステムを構想しマネジメントする能力を修得。

### 統計学特論

看護研究を実施する際に必要とされる統計学の基礎的な知識や技術、看護研究で広く用いられる一連の統計手法を修得。

## 専修免許教育課程科目

### 学校保健特論

学校保健活動展開のために必要な知識やあり方、教職員の役割を明確にし、子どもの健康問題の把握と理解支援方法を探究。

### 養護活動インターンシップ実習

教育現場の健康課題に的確に対応する養護活動展開のために、実践的活動と理論的学びとの往還を通して、実践的指導力のあり方を探究。

## 看護学専攻 専門科目

### [地域生活支援看護学領域]

#### 地域支援看護学特論

生活者の健康の保持・増進に関わる知識・技術を高めるために必要な支援方法を修得し、理論に基づいた効果的な支援のあり方を探究。

#### 高齢者ケア特論

高齢者ケアに関わる諸理論や概念を理解し、多様な高齢者と家族が抱える課題を多面的に捉え、老年期の豊かな生と健康への支援について探究。

#### 地域ケアマネジメント特論

ケアマネジメントのあり方を理論的・実践的に理解し、個別的なケアマネジメントを発展させ、地域包括ケアシステムの構築を視野に具体的な方法論を探究。

#### 在宅看護支援特論

在宅看護の対象者を取り巻く社会の現状と課題を理解し、対象者のQOLの向上に向けた看護実践のあり方を探究。

## 研究指導 演習・研究

### 看護学課題演習

地域生活支援看護学、および療養支援看護学に関する課題に対して、現在の支援状況と解決すべき介入方法を検討し、先行研究を批判的に分析し、探究。

### [療養支援看護学領域]

#### 療養支援看護学特論

自己の看護体験を内省し、継続した地域医療を支え、対象者の健康や療養生活の包括的支援について探究。

#### 看護技術特論

臨床から地域における援助技術の概念・諸理論について理解し、根拠に基づいた援助内容や支援のあり方を探究

#### 成人看護支援特論

成人期の発達課題と危機を理解し、表出される様々な反応や現象を理論的に説明し、解決のための方略を開発する能力を修得。

#### 育成看護支援特論

子どもの育成に必要な概念・諸理論を理解、多様な支援方法を探究する知識・技術を修得し、地域医療における子どもの育成の看護専門職としてのあり方を探究。

### 特別研究Ⅰ・Ⅱ

特別研究Ⅰ（1年）・・・特定の課題に関し、関連する文献を概観、理論－実践－研究の関連性を分析し、看護の向上に寄与する知見を修得。

特別研究Ⅱ（2年）・・・研究の遂行と修士論文の作成



教員名	研究テーマ
小田 慈 (副学長)	・小児の医療・保健・福祉に関する研究 ・地域医療に関する研究 ・子どもの権利に関する研究
栗本 一美	・在宅療養者と家族のQOL向上にむけた看護実践に関する研究 ・地域包括ケアにおける専門職の育成に関する研究
佐々木新介	・看護技術のエビデンスに関する研究 ・生体情報の解析等に関する研究
塩見 和子	・看護史に関する研究 ・結核看護に関する研究
山田 雅夫	・感染症の予防と治療 ・感染症をめぐる看護の課題
磯本 暁子	・がん患者とその家族の体験の理解と質の高い看護実践に関する研究
山本智恵子	・看護師の感情労働や共感に関する研究 ・看護実践での臨床判断に関する研究

## 開講科目の概要

### 中山間地域の人々の健康を支えるための研究力を身につける

#### 基盤科目

##### 看護学研究方法特講

国内外の研究論文の精読を通じて、研究課題の明確化や研究計画立案、論文作成の留意点の理解を深め、地域医療に貢献するための思考力と確かな研究力を養い、看護理論の構築・看護モデルの開発に必要な研究方法を修得。

##### 応用看護統計学

統計的モデル選択や尺度開発など、看護研究を実施する際に必要とされる統計学の知識や技術を修得。

##### 地域包括ケア看護学特講

中山間地域等、様々な地域の保健医療の課題に対して、アプローチできる思考力、分析力とともに、課題を追究、解決する能力、地域包括ケアの深化を目指し、地域医療を支える看護研究者としての能力を修得、地域課題解決のために解決策の提言ができる能力を向上。

##### 精神保健ケア特講

中山間地域における全世代のこころと身体の健康を支援する地域包括ケアシステムにおける課題を追究し、解決する能力を修得。

#### 専門科目

##### 地域生活支援システム看護学特講

中山間地域で生活している全世代を対象とした健康問題や支援の課題について取り上げ、看護職の視点でアプローチするための分析力・研究力を高め、地域の特性を踏まえて、在宅生活の継続における地域生活支援システムを探究。

##### 継続療養支援開発看護学特講

病院医療の課題を分析し、課題解決に向け提言できる能力を高め、経過別看護における看護の高度な専門知識・技術を探究するとともに、職種間の連携や看護専門職の役割と機能、在宅療養者とその家族へアプローチするための分析力、構想力、課題を探究。

#### 研究科目

##### 看護学特別研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

- Ⅰ（1年）・・・自身の研究テーマに関連する文献をレビューし、後期課程で取り組む研究課題を明確にし、研究提案書を作成。
- Ⅱ（2年）・・・研究テーマのさらなる明確化と研究の科学性と倫理性を考慮した研究計画書の作成。
- Ⅲ（3年）・・・研究の遂行と博士論文の執筆。

## 時間割例

2026年度時間割をもとに履修科目の例を作成しています。2027年度以降は変更の可能性があります。

	月	火	木	金	土	
		16:40~19:50			9:20~18:10	
1年前期		継続療養支援 開発看護学特 講（選択必修・ 通年）		看護学特別 研究Ⅰ	看護学研究方法特講（必） 地域包括ケア看護学特講（必） 地域生活支援システム看護学特 講（選択必修・通年）	
1年後期				看護学特別 研究Ⅰ		
2年前期	精神保健ケア 特講				看護学特別研究Ⅱ 応用看護統計学	
2年後期					看護学特別研究Ⅱ	
3年前期					看護学特別研究Ⅲ	
3年後期					看護学特別研究Ⅲ	

長期履修制度を利用した場合は、1～2年次の科目を3～4年次に分けて履修することが可能です。その場合でも、（必）の科目は可能な限り1～2年次で履修することを推奨します。

### － 3年間の流れ－

#### 1年次

4月 入学式  
12-1月 研究課題提案書策定・研究構想発表会

#### 2年次

～5月頃 研究倫理審査  
2月 中間発表会

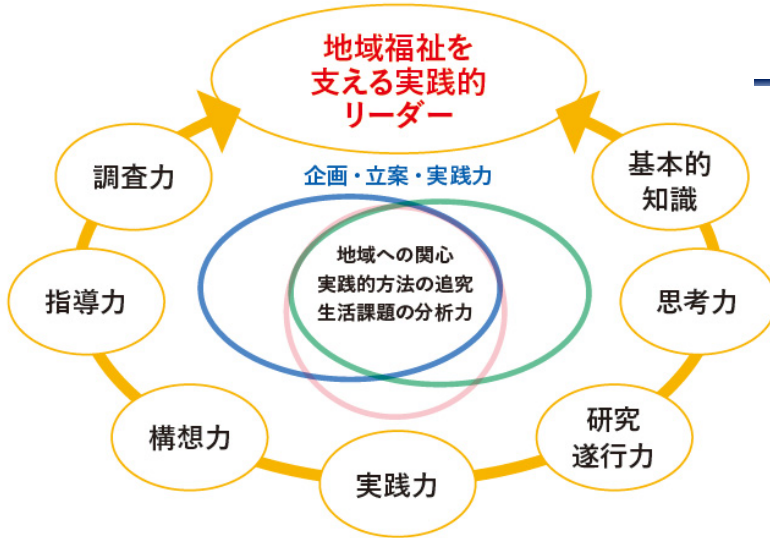
#### 3年次（博士論文提出年度）

博士論文作成  
12月 博士論文提出  
1-2月 博士論文予備審査、公開論文発表会  
3月 修了・学位授与式



## 福祉学の視点からみた全世代型地域包括ケアの追究・実践

中山間地域の課題解決のために活躍するリーダーを育成します。



### 専攻の特色

- ・中山間地域の課題解決を志向する全国唯一の大学院。地域福祉学を基盤として健康科学、共生社会の視点から中山間地域の課題を分析、評価します。
- ・地域包括ケアに関する豊富な知識と経験を有する専門家による講義により、地域共生社会の中で地域包括ケアを実現するための視点・実践力を修得できます。
- ・調査の方法、量的調査、質的調査に関する知識と技術が修得できます。

### 想定する学生

現在または将来、保健、医療、福祉、教育に関連する施設・機関、ならびに行政機関に勤め、地域福祉の実践的リーダーを目指す人

### 修了後の進路

保健、医療、福祉、教育に関する機関・施設、行政機関、NPO等において主に地域活性化の仕事や地域課題の解決を担うソーシャルワーカー、ケアワーカー、地方行政職

### 専任教員

教員名	研究のキーワード
井上信次 (専攻長)	障害福祉/社会福祉調査
加藤雅彦	公衆衛生行政/衛生教育
鄭 丞媛	社会疫学/医療福祉マネジメント
高杉公人	地域福祉実践/実習教育
三上ゆみ	介護福祉/介護実践
松本百合美	介護福祉/介護技術
山本浩史	社会福祉/文化科学

### クロスアポイント制度による教員

教員名	担当科目
服部 真治 (日本能率総合研究所 主管研究員)	中山間地域政策実践特論

### 客員教員

教員名	担当科目
蒲原 基道 (元厚生労働省事務次官)	福祉共生社会特論 他
藻谷 浩介 (日本総合研究所調査部 主席研究員)	コレクティブ・インパクト特論
高原 伸幸 (元厚生労働省専門官)	福祉共生社会特論
熊原 保 (元社会福祉法人理事長)	コレクティブ・インパクト特論

## 開講科目の概要

# 中山間地域の福祉課題解決のための実践力を身につける

**研究科共通科目** 看護学専攻（博士前期課程）・地域福祉学専攻（修士課程）共通の科目

### 健康科学特論

本学が目標とする健康科学の視点、関連知識の修得。

### 健康科学英語特論

健康科学分野の英語の専門語彙、論文の構成力と論旨の展開方法に関する能力を修得。

## 基礎科目

### 福祉共生社会特論

「我が事・丸ごと」地域共生社会に至る歴史的・政策的背景を理解し、中山間地域の共生社会におけるこれからの福祉的課題について理解し、解決に向けての視点を探究。

### 地域福祉学研究方法論

地域福祉学の理論的枠組みを理解し、学術的研究の視点、研究倫理と手法、援助技術の展開方法を修得。

### 社会調査特論

社会調査を実践的に企画・設計・実施し、分析・集計を行うための実践的な知識・能力を修得。

### 量的調査特論

量的な解析のために必要な知識・技術を修得。

### 質的調査特論

質的な解析のために必要な知識・技術を修得。

## 専門科目

### 地域福祉学特論Ⅰ（社会福祉理論領域）

社会福祉学の諸理論を学修し、実践の基盤となる地域福祉に必要な支援に関する理論および住民主体・利用者主体の視点を探究。

### 中山間地域政策実践特論

地域課題を分析し、協働の枠組みを設計し、エビデンスに基づく政策を構想・提案する視点を探究。

### 地域福祉学特論Ⅱ（介護福祉領域）

介護福祉に関わる実践理論と事例分析から、利用者主体・住民主体の視点から介護福祉に関わる課題を探究。

### 地域包括ケア福祉学特論

中山間地域の全世代型地域包括ケアシステムに関する実践事例の分析から、個々の生活課題の解決に向けた包括的支援体制を探究。

### 地域福祉学特論Ⅲ（ソーシャルワーク領域）

日本国内の事例分析から、住民主体の支援方を考案し、まちぐるみの支援体制の企画・立案する方法を探究。

### コレクティブ・インパクト特論

多くの関係者との共創であるコレクティブ・インパクトを基礎とする包括的支援体制を探究。

### 地方政策学特論

ソーシャル・インパクト・ボンド等の新しい地方政策の仕組みづくりを分析し、施策を構想・提案する方法を探究。

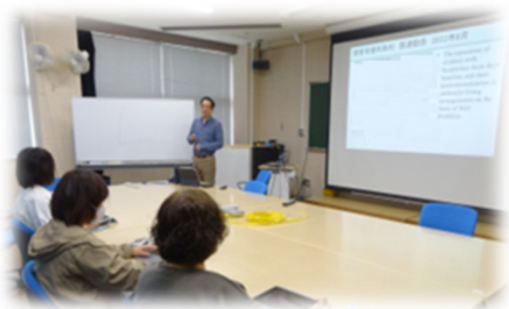
### 専門演習

特定の地域に出向き、個別の生活課題を分析することで、福祉実践のリーダーとして包括的支援体制を構築するために必要な構想力、実践力、指導力を分析し、探究。

## 研究指導

### 地域福祉学特別研究Ⅰ・Ⅱ

I（1年）：研究目的を明確にし、研究デザイン等を計画。 II（2年）：研究の遂行と修士論文の執筆。



## 時間割例

2026年度時間割をもとに履修科目の例を作成しています。2027年度以降は変更の可能性があります。

### ○行政職モデル

	月	火	水	木	金	土
	18:20~19:50					9:20~18:10
1年前期	社会調査特論 中山間地域政策実践特論	健康科学特論(必)		地域福祉学特論 I	地域福祉学特論 III	福祉共生社会特論(必) 地域福祉学研究方法論(必)
1年後期	地方政策学特論	質的調査特論		量的調査特論		地域包括ケア福祉学特論
	*いずれか1科目					
2年前期	専門演習(必)					コレクティブ・インパクト特論(必)
2年後期						

1年次に1科目履修し、残りを2年次に履修でも可

### ○社会福祉専門職モデル

	月	火	水	木	金	土
	18:20~19:50					9:20~18:10
1年前期	社会調査特論	健康科学特論(必)	地域福祉学特論 II	地域福祉学特論 I	地域福祉学特論 III	福祉共生社会特論(必) 地域福祉学研究方法論(必)
	*いずれか2科目					
1年後期		質的調査特論		量的調査特論		地域包括ケア福祉学特論
2年前期	専門演習(必)					コレクティブ・インパクト特論(必)
2年後期						

長期履修制度を利用した場合は、1～2年次の科目を3～4年次に分けて履修することが可能です。その場合でも、(必)の科目は可能なかぎり1～2年次で履修することを推奨します。

#### －2年間の流れ－

##### 1年次

- 4月 入学式  
(7月頃) (各講義での研究テーマ発表  
地域福祉学研究方法論 等)
- 12-1月 研究計画書提出・研究構想発表会

##### 2年次(修士論文提出年度)

- ～5月頃 研究倫理審査
- 9月 中間発表会
- 12月 修士論文提出
- 1-2月 修士論文審査、最終発表会
- 3月 修了・学位授与式

- 注1) (必) : 修了必須科目
- 注2) 「専門演習」: 日中に新見市内で演習を数日間、集中して行います。
- 注3) 上表以外に「地域福祉学特別研究 I・II」(通年)を履修する必要があります。原則として土曜日に開講しています。
- 注4) 1年後期水曜日には「健康科学英語」が開講されています。
- 注5) 事前相談の上、一部をオンラインで受講することも可能です。



## 入学者選抜

詳細は本学ホームページに掲載の募集要項でご確認ください。

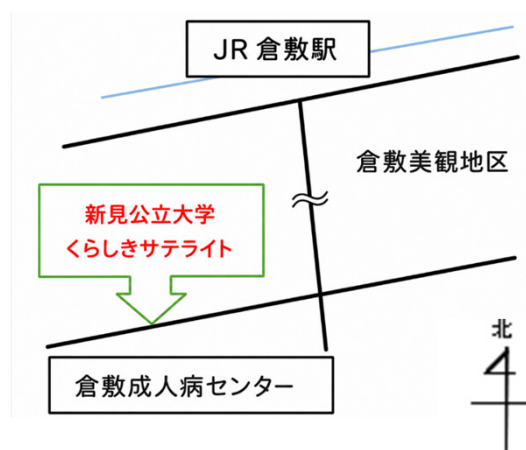
## 学費等

入学検定料	入学金		授業料 (年額)	後援会費
	新見市内の者 ・本学卒業生 * (卒業見込みを含む)	左記以外の者		
30,000円	188,000円	282,000円	535,800円	10,000円

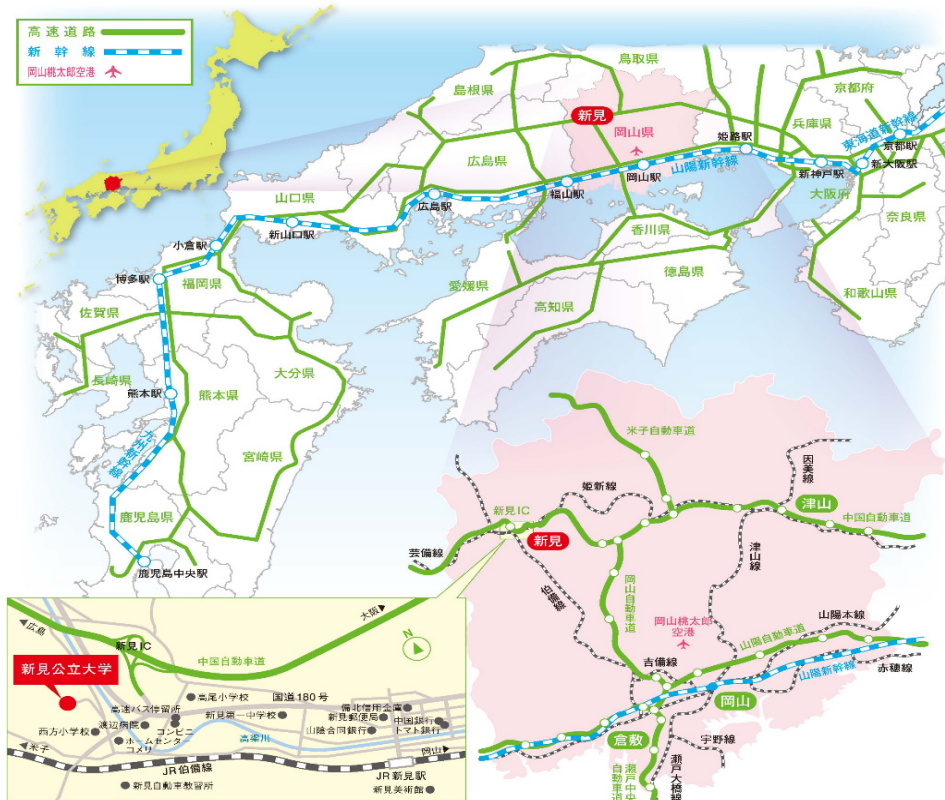
\* 「新見市内の者」とは、本人が入学の日の属する月の初日において引き続き1年以上新見市内に住所を有する場合をいい、その認定は、住民基本台帳等によりこれを行います。博士後期課程については、本学大学院修士課程を修了した人(見込みを含む)は、納付の必要はありません。

## 働きながら本学大学院に進学する場合

- ①長期履修制度により、時間をかけて修了することができます。(入学後に手続きが必要)  
修士課程／博士前期課程は2年分の学費で、最長4年をかけて履修できます。  
博士後期課程は3年分の学費で、最長6年をかけて履修できます。
- ②夜間・土曜日開講により、働きながらでも受講することができます。  
履修生の希望・状況に合わせて、平日18：20以降の時間帯や土曜日に講義を開講します。
- ③一部の講義は、オンラインにより自宅等で受講することができます。  
履修生の希望・状況に合わせて、インターネットを通じた講義を併用します。
- ④倉敷市白楽町にあるサテライト教室での講義も併用します。  
(JR倉敷駅から徒歩約20分、バスまたはタクシーで約5分)



# 本学へのアクセス



## JR利用 新見駅までの所要時間

岡山	約1時間	松江	約1時間30分
倉敷	約50分	高松	約2時間
東京	約4時間30分	松山	約3時間30分
名古屋	約2時間30分	高知	約3時間30分
新大阪	約2時間	博多	約3時間
広島	約1時間30分	熊本	約3時間30分
鳥取	約2時間	鹿児島	約4時間

## 車利用 新見ICまでの所要時間

大阪	約3時間	福山	約1時間30分	松山	約3時間
姫路	約2時間	広島	約2時間	高知	約3時間
佐用	約1時間30分	鳥取	約2時間30分	徳島	約3時間
岡山	約1時間30分	米子	約1時間30分	山口	約3時間
倉敷	約1時間30分	松江	約2時間	下関	約4時間
三次	約1時間	高松	約2時間		

## 飛行機利用 岡山桃太郎空港までの所要時間

羽田	1時間15分
那覇	1時間50分
札幌	1時間50分

## 新見駅からの 所要時間



## 新見ICからの 所要時間



## 岡山桃太郎空港からの 所要時間



※交通アクセス、所要時間などは諸事情により変わることがあります。  
(JR利用の所要時間に乗り換え時間は含みません)

